

大島保彦先生(駿台予備学校・英語科)の

進路講演会が行われます

ここ数年、恒例となっている駿台予備学校の大島保彦先生をお招きしての3年生進路講演会。毎年多くの不動岡生から好評を得ている講演会ですが、今年は6月17日(月)13:30～不動岡ホールで実施します。

当日の演題は「**未来は自分の中にある ～問いかけて作り出そう～**」です。しっかりとお話しを聞き、ひとつでも多くのメッセージを受け取り、今後の受験生活に活かしてください。

- 【当日の日程】 12:40～13:20 昼休み
13:25 Fホール着席完了・大島先生ご入場・ご紹介
13:30～ 講話(50分)・質疑応答(5分)・お礼の言葉・大島先生ご退場
14:30～ 各HRにて感想を記入・提出

***** 大島保彦先生・プロフィール *****

駿台予備学校英語科講師(大宮校・校長)

駿台お茶の水校・市谷校舎・大宮校のスーパーコースに出講。東大専門校舎3号館で高卒生クラスの英文解釈の授業も担当。また、オンデマンド講座も担当している。

自分の経験談や精神論を適度に交えた授業は非常に魅力的で思わず引き込まれる。多くの学生から支持を集める駿台No.1講師。東大入試実戦模試の出題、東大入試問題の分析・解説など、東大入試研究の第一人者でもある。

駿台文庫から『英語長文問題集』を発刊。スーパー東大実戦講座は毎年担当し、受講した学生から大変好評を得ている。

受験勉強は社会で必要なことの訓練の場

駿台予備学校講師 大島保彦先生

今年も大学入試シーズンはほぼ終わったが、大学入試改革の議論は今も待ったなしで進む。「社会で役に立たない」と言われがちだった受験勉強への見方も変わりつつある。

英語の授業で「splendid」という単語が出てくると、私は学生に、「splendid isolation」って知ってるんじゃない、って問いかけます。19世紀の英国の政策のことだけど、ともう一押しすると、世界史を取っている学生が「あっ」という顔をして「栄光ある孤立」って答える。英単語と一緒に19世紀の英国の外交政策が頭に入り、学生はこの知識を忘れられなくなるでしょう。

別々に習った知識が、みしっと集まってつながった瞬間に訪れる「分かった」という感覚。勉強の快感です。これを味わうと学生は放っておいても勉強するようになり、結果として志望校に受かる。そういう学生は、大学でも社会に出てからも勉強を続けます。受験の枠を超えて「本当の勉強」にたどり着くんです。

受験勉強には、試験日という締め切りがある。目標を達成するためには、学生自身が方針を立てて日程を管理し実行しないといけません。また、問題を解くとは、様々な状況で何が最適な解なのか察知し判断すること。これは全部、社会でも必要とされることです。受験勉強は、社会に出る前に社会の訓練ができる場でもあるんです。

(朝日新聞 2014年3月26日「学びを語る」から)

ベネッセ・マーク模試終了!

6月8日(土)、今年度初めての全員参加の模試(ベネッセ総合学力マーク模試)が実施されました。国立型の生徒には、約11時間に及ぶ模試でした。センター試験本番では、2日に分けて行われる5教科の試験を1日で実施するため、どの業者のマーク模試もこうした厳しい日程になります。来年1月18、19日のセンター試験本番の緊張感に耐え得る体力・精神力を鍛えるつもりで、この一年のマーク模試に臨みましょう。

<模擬試験の4つの効果>

①節目の効果	長期間にわたる受験勉強の集中力を維持する。
②自己診断の効果	自分の弱点や課題を見つける。
③全国区の効果	全国レベルでの自分の実力の伸びを正確につかむ。
④試験慣れの効果	試験の場に慣れ、実力を出し切るテクニックを身につける。

学習時間を確保するための3つのポイント

3年生になって2か月が経ちましたが、受験勉強は順調に進められているでしょうか。部活動を引退した人は、気持ちを切り替えて、集中して学習に取り組むことが大切です。ここでは学習習慣のポイントについてまとめています。もう一度、学習スタイルを見直し、効率的に学習を進めていきましょう。

①「生活の3点」を固定する

生活の3点とは、「起床」「夕食」「就寝」です。これらの時間を固定して、規則正しい生活をしましょう。

② まとまった学習時間をつくる

問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間をつくり、じっくりと取り組んでみましょう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。

③ 休日の時間を有効利用する

平日にできなかったことは、休日にカバーしましょう。計画の遅れも休日の時間を有効利用することで取り戻すことができます。

6月17~21日は、二者面談期間

来週から二者面談期間です。学校祭が終わった。中間考査がすべて返却された。マーク模試が終わった。今、どんな気持ちで過ごしていますか?やらなければならないことの多さに不安を持っている人も多いのではないのでしょうか?また、自分の取り組むべき課題がわからない、志望校合格に向けた対策がわからない人はいませんか?

自分のことは自分が一番よく知っているのかもしれませんが、今あなたたちの学習状況・学力・伸びしろを客観的に分析して、一緒に作戦を考えるのが、私たち教員の役目です。来週、二者面談があります。まず、面談ノートをきちんと記入すること。書くことで、今の自分の気持ちが整理できます。また、志望する大学のHPを見て、受験方法や受験科目などを明確にしておくこと。志望校への憧れが大きくなります。そして、面談時に『自分の第一志望は〇〇大学〇〇学部〇〇学科です。』と決意表明すること。自分の決意を言葉で表すことが、あなたを前進させるエネルギーになるはずです。

